

一般 質問

令和3年度 12月定例会



弱者対策充実を

伊藤 好晴 議員

**Q 学校・公共施設へ
生理用品を**

「生理の貧困」をなくし、金銭的理由で生理用品を買うのに苦労をしなくてもすむ町を目指すため、学校や公共施設の女子トイレ及び多目的トイレに生理用品を常備することを求める。

町長塚原隆昭

A 考えていない

学校では保健室に備えてあり、経済的理由で使用できないということはなく、トイレには置かない。一般的に、トイレに生理用品を配置することは衛生面でも問題がある。

町長塚原隆昭

**Q 特別障害者手当
わかりやすい啓発を**

「特別障害者手当」は、障害のある人が簡単に理解でき、自分が対象になるかどうか判断できることが非常に重要だ。役場の窓口や医療機関へ足を運んでいただくきっかけになるよう改善を求める。

A 徹底対応をする

支給対象から漏れないことが大事。要介護4以上の人たちは、関係者で徹底して対応する。該当と思われる方にどう伝えるか検討していく。

町長塚原隆昭



老人福祉施設の今後は

内藤 眞一 議員



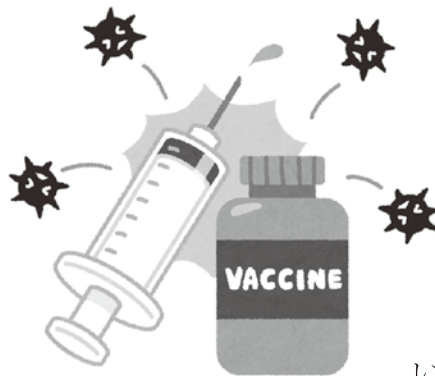
**Q 新型コロナワクチン
副作用の対応は**

2回目の新型コロナワクチン接種後、頭痛・高熱のため3カ月学校を休んでいる中学生がいる。複数の医療機関を受診したが回復していない。

**A 個々にあわせた
対応を**

学校では、生徒の主治医と情報共有を行い、共通認識を持ちながら生徒への対応を行っている。また、過度に登校を強いることなく、家庭訪問により生活リズムを整えることを中心に指導している。町では、保健福祉課において、県や医療機関と情報共有しながら対応している。

町長塚原隆昭



接種後の副反応や心配ごととはまちまちであるため、個々に合わせた対応を保健福祉課でいねいに行っていく。

このようになったときの対応策について、他の事例を調査しているのか。また、対応の手順書を作成しておくべきではないか。

学校では、生徒の主治医と情報共有を行い、共通認識を持ちながら生徒への対応を行っている。また、過度に登校を強いることなく、家庭訪問により生活リズムを整えることを中心に指導している。町では、保健福祉課において、県や医療機関と情報共有しながら対応している。

町長塚原隆昭

**Q 福祉施設を統括する
組織づくりを**

本町には老人福祉施設が8施設あり、400人弱が利用されているが、全ての施設で介護士不足という課題を抱えている。



飯南町社会福祉協議会

**A 今後を見据えた
体制づくりを**

高齢者福祉を取り巻く課題は、安心安全な暮らしを守るうえで重要かつ迅速に解決していかなければならない。

介護福祉分野では、事業所のトップで構成された「飯南町福祉施設協議会」で、人材確保に関する合同研修や物品の共同購入などを行いつつ、現在の高齢者福祉を支えていただいているが、今後の飯南町全体の高齢者福祉を考えたときには、立ちいかなくなることは明らかだ。

そのため、副町長をトップとし保健福祉課を中心としたプロジェクトチームを立ち上げ、社会福祉協議会の在り方や介護福祉施設を統括する団体の設立などの諸課題に取り組んでいく。

町長塚原隆昭

今後福祉施設は必要であることから、引き続き施設が維持できるよう、町が中心となって各施設の代表者による組織づくりをすべきではないか。

また、施設福祉について社会福祉協議会の在り方を問う。

Q 福祉灯油の制度化を

原油の高騰による燃油の高値、食料品の相次ぐ値上げや電気料金など光熱水費の引き上げが家計を圧迫している。農家や運送業者、クリーニング業など燃油を大量に使う業者をはじめ、コロナ禍にあえぐ地元業者の方々からも悲鳴の声が上がっている。



**A 長引けば福祉灯油
助成を発動**

一刻も早く町民生活と生業支援策等を講じるよう次の3点を求める。

①生活保護世帯や低所得世帯、ひとり親、高齢、障害者世帯等への福祉灯油制度を実施すること

②地元中小業者に対する燃料費助成制度を創設し、

③学校、図書館、公民館など町の施設の暖房代を十分確保することとあわせ、民間の福祉施設などへの暖房費助成を行なうこと

町長塚原隆昭

高齢者施設などからはひつ迫した状況ではないと回答があった。

長引くようなら福祉灯油助成を緊急措置的に発動する。指定管理施設、公共施設、地元の中小業者、福祉施設へも同様の考え方だ。